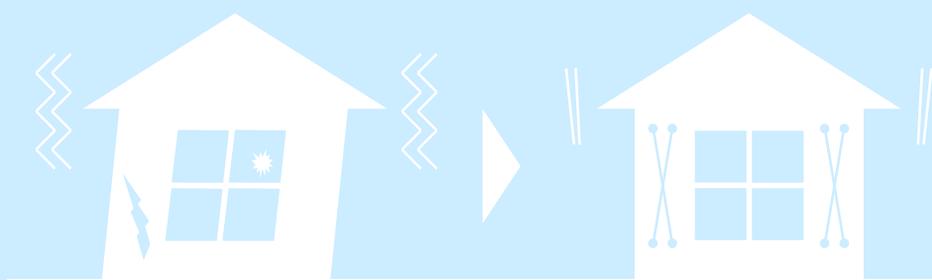


木造住宅の耐震診断を受けた方へ

低コスト工法

による

住宅の耐震化のすすめ



安価な耐震改修工法を
ご存じですか？

発行

低コスト工法とは？

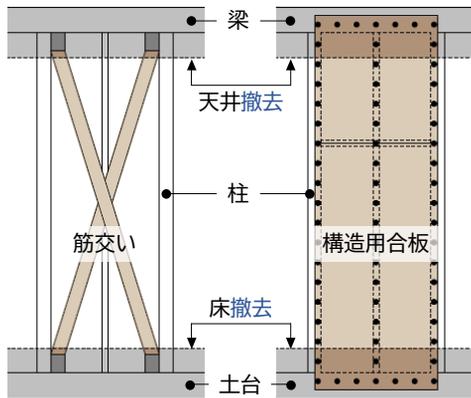


一般的な耐震改修工法では、天井内の梁や床下の土台に筋交い等を取り付けるため、床や壁・天井を一度撤去して、筋交い等を設置した後に復旧する必要があります。

低コスト工法は、外部から補強材を取り付けるなど、内・外装材の撤去を極力少なくすることでコストの削減を図りながら、耐震性能を向上させる工法で、有識者で構成される愛知建築地震災害軽減システム研究協議会で耐震性能の評価を受けた信頼できる工法です。

一般的な工法

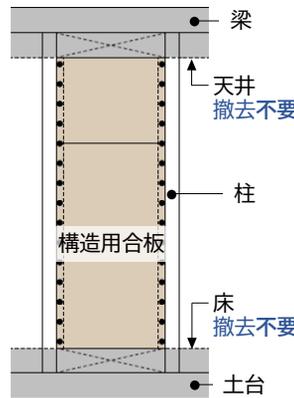
壁全体を補強



・筋交いや構造用合板を土台・柱・梁に固定して補強
 ➡ 壁だけでなく、床や天井の撤去も必要

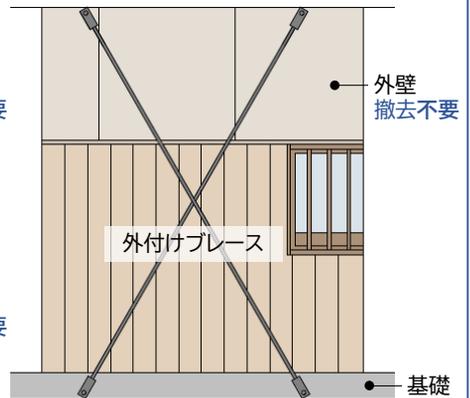
低コスト工法の一例

壁の一部を補強



・床と天井の間を構造用合板で補強
 ➡ 床や天井の撤去不要

外から壁を補強



・外部から金属のブレースで補強
 ➡ 外壁の撤去不要

低コスト工法のメリットは？

工事費の削減

撤去・復旧に係る工事が少ない分、工事費を削減することができます。



工期の短縮

撤去・復旧を最小限に抑えることで、工期の短縮に繋がります。



住みながら工事

工事に伴う騒音やホコリが減り、生活への影響が軽減されます。



廃棄物の削減

撤去・復旧を最小限に抑えることで、廃棄物を削減できます。



多くの耐震改修工事で使われています！

岡山県内で補助を受けて実施された耐震改修工事のうち、約6割の工事で低コスト工法が採用されています。

※令和3～5年度の実績(岡山県調べ)

低コスト工法を採用 (約6割)

<一般的な工法> <低コスト工法>



(工事費の比較イメージ)

低コスト工法を活用し、地震に強い住宅に耐震化しましょう！！



ご相談・お問合せ

木造住宅の耐震改修の補助制度や手続きについてのご相談は、お住まいの市町村の担当窓口までお問い合わせください。

市町村担当窓口はコチラを参照

